



丹精込めた花で卒業式



石垣下花壇の手入れ

朝陽っ子デーの全校長縄跳び

自転車実技講習交通教室



エビ・カニ放流

ヘルメット着用で避難訓練

長期休業前の KYT 教室

長寿会との
グラウンドゴルフ

※危険予知トレーニング

【特色ある教育活動】
①花いっぱい石垣花壇
「祈る心で父母が、高く築いた朝陽の、この石垣のこの石に、こもる誠を学びつつ」と校歌に詠われている県道沿いの石垣。長さ160m程の石垣を築いた校区民の思いを胸に、週3回のクリーン&グリーンタイムには、苗植え・草取りに汗を流し、道行くド

本校は、入来町の東部に位置し、川内駅と鹿児島空港を結ぶ県道沿いにあります。本年度は1年生と2年生が単式学級、3・4年生と5・6年生は複式学級の計4学級編制となっています。表現力とコミュニケーション能力を高めるために、授業中はもちろんのこと、児童朝会・総会での意見発表など、活発な意見交換を行っています。作文や俳句・標語・絵画など児童の作品が、いつも校内にあふれて、一人一人の良さをみんなで認め合う学校です。

表現・花・縄跳びの

朝陽小学校

創立142年 校訓「やさしく かしく たくましく」

ライバーを和ませています。

②エビ・カニ放流
毎年11月には、校区を流れる後川内川にエビやカニを放流します。地域の方が善意でたくさんのカニなどを準備してくださいます。最初は怖くて触れない児童も、回を重ねるごとに楽しみとなる行事です。

③高齢者との交流活動
11月にはグラウンドゴルフを一緒に楽しむのが恒例となっています。腕の立つ高齢者にはなかなか勝てません。しかし、ゴルフの後に一緒に食べる給食では、昔話を聞くことをとても楽しみにしています。

④朝の「縄跳び」練習
1校1運動として、毎朝自主的に全校児童が取り組んでいます。2月の縄跳び大会に向け、先輩の技のすごさを感じながら、新記録樹立を目標に全員汗を流しています。

VOICE

朝陽小学校 新村 成子 校長

明治3年に布泊稽古所として発足し、明治12年に現在地に移転した際、北西に位置した城跡の城門が朝陽門と呼ばれていたところから校名がついたと言われている地元の歴史と縁の深い学校です。児童数25人という小規模ではありますが、自分の可能性を伸ばすために、周囲の人々の教を素直に受け止め、日々頑張る素直な児童の声が響き渡っています。



川内

鹿児島税関支署

川内出張所が常駐化

7月2日(月)、鹿児島税関支署川内出張所が同月から職員が常駐化することに伴い、吉田雅志同所長が向原翼・知識博美両副市長を表敬訪問しました。職員の常駐化は、川内港のコンテナ取扱量や貿易額の増加によるものです。



夏真っ盛り
太陽に向かって咲くひまわり
(上川内町)

平成24年7月24日撮影



祁答院

夏の訪れを告げる
「ほおずき市」開催

7月21日(土)・22日(日)、特産品直売所ロード51(祁答院町)で第8回ほおずき市が開催されました。同町は県内でも有数のほおずきの産地。当日ズラリとテントに連ねられたホオズキは、まるでオレンジのカーテンのよう。両日とも多くの買い物客で賑わいました。



入来

朝摘みの新鮮なシソで
ジュース作り

大馬越地区コミュニティ協議会によるしそジュース「しそっぷ物語」作りが、今年も6月下旬～7月中旬にかけ行われました。同地区産の朝摘みしたシソの葉を使い、仕分けから瓶詰めまで手作業で実施。この期間に約2,000本を製造します。
【写真提供】=同地区コミュニティ協議会



下甕

エコプロジェクト
海辺の学校inこしき

7月14日(土)・15日(日)、下甕地区で海辺の学校inこしきが開催されました。市内外から35家族106人が参加。海辺の生き物観察や貝殻を使った創作活動などを通し、地球に優しい環境づくりについて学習しました。夜は海鮮バーベキューを囲み親睦も深めました。



祁答院

砂防ダムを見学
「現場見学会」を開催

7月6日(金)、大轟小学校5年生13人が、祁答院町の砂防ダム工事の部分完成に伴い同現場を見学しました。当日は現場担当者から、模型などを使い工事の概要や防災のあり方を学んだほか、測量機器の体験や桜の記念植樹も行いました。